

令和2年6月8日

鈴鹿高専青峰同窓会の皆様へ

鈴鹿高専テクノプラザ
会 長 小中 敏克

鈴鹿高専テクノプラザ会員企業の増強に関する協力依頼について

向夏の候ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大により社会情勢が混乱するなか、鈴鹿高専テクノプラザ(以下「テクノプラザ」という。)の諸活動に対し、ご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございますとございます。

テクノプラザでは、地域産業界・地域社会と鈴鹿高専が緊密な連携を取れるよう、三重県内の地域枠を越えた産学官の連携体制を構築し、ものづくり企業の発展に寄与するとともに、鈴鹿高専の教育・研究の振興を図るため、日々、企業会員とともに活動を行っているところです。

このような活動の一環として、現時点における 129 社の企業会員数を令和2年度末に150社まで増やすことを目標に掲げており、テクノプラザの理事・監事等を中心にその活動を推進しています。

つきましては、鈴鹿高専を卒業された皆様には、日頃よりテクノプラザの諸活動にご協力を頂いているところではございますが、更なる企業会員増強にご協力を頂きたく、ここにお願い申し上げます。企業会員として入会の可能性がある場合は、テクノプラザ事務局・コーディネーターがご賛同頂ける企業を訪問し、ご説明させていただきます。

参考にテクノプラザの入会案内のパンフレット等を添付させていただきますので、ご確認ください。

なお、鈴鹿高専としても教員を主体とし、「企業会員増強キャンペーン」の期間を設定することにより、本件に関するご協力を頂けるのをご確認しております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から、社会活動等を制限させられる現状となっておりますが、何卒ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

以 上

<本件問合せ先>

鈴鹿高専テクノプラザ

事務局次長 高吉 康弘

TEL:059-368-1908

FAX:059-387-0338

MAIL: somu@jim.suzuka-ct.ac.jp



産学官連携で、ものづくり支援

鈴鹿高専テクノプラザ

〈入会のご案内〉

設立の目的

- 企業の技術活性化に、鈴鹿高専の人的・知的技術資源を活用し役立てます。
- 地域産業界の連携・交流を深め、地域産業の発展に、鈴鹿高専と協働します。
- 企業の参加で、鈴鹿高専の教育研究の振興に協力します。

事業内容と入会の特典

●研究に関する協働事業

地域産業・企業の課題について、鈴鹿高専と共同研究、委託研究、委託試験などとしてご支援いたします。

●企業の人材育成

リフレッシュ教育のために、技術講習会、研修会の開催を通して、キャリアアップのお手伝いをいたします。

●人材確保の支援、企業PR

企業と学生を結び、就職につなげるため、「企業ガイドブック」を発行して学生に配布し、就職指導会などの資料として活用します。

●鈴鹿高専の学生との交流の促進

エンジニアリングデザイン能力を養う創造活動プロジェクトや創造活動に基づく知的財産教育の機会を通して、学生との交流・支援の場を提供します。

会員企業



鈴鹿高専



会費

年会費

法人会員は一口3万円、個人会員（終身）は一口3万円

振込先

百五銀行 旭が丘支店

〔普通預金口座〕 338602 〔名義〕スズカコウセンテクノプラザ

お問い合わせ・お申込みは下記連絡先までお気軽に！

連絡先

鈴鹿工業高等専門学校 総務課（鈴鹿高専テクノプラザ 事務局）

Tel 059-368-1717

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

FAX: 059-387-0338 Mail: technoplaza@jim.suzuka-ct.ac.jp

ご入会の特典

鈴鹿高専テクノプラザ（以下「本会」という）に入会すると、鈴鹿高専と次のような「ものづくり技術開発」に関連する技術振興や人材育成、学生との交流の場を通じた連携活動の機会が得られます。

【研究協力の推進・産学官情報交流の促進】

1. 地域産業・企業の技術課題について、鈴鹿高専と共同研究・受託研究・受託試験・産学官協働研究室の設置などを通して、企業の技術振興が図られること、さらには外部研究費獲得などへの連携活動に発展する可能性が広がります。共同・受託研究に関しては、研究費の一部が、本会から担当する教員に寄附金として助成されます。
2. 会員企業の皆様が取り組む技術開発や製品開発などで、技術相談や機器分析、評価試験等の対応支援、および他機関との連携支援などが受けられます。
例えば、技術相談は 2 回目以降も無料で、2 回目以降の技術相談料については、担当の高専教員に寄附金として本会から助成されます。また、鈴鹿高専内の研究設備利用については、使用料金に優遇制度（使用料金から30%割引）が適用されます。
3. 本会や鈴鹿高専、SUZUKA産学官交流会が開催する科学技術に関する研究会や講演会・交流会等に参加できます。

【技術向上に関する支援、企業PR】

1. 社会人のリフレッシュ教育のために、「技術講習会」、「講演会」などの開催、鈴鹿高専教員の企業訪問による「出前講座」の実施を通して、キャリアアップの技術者育成支援が受けられます。
2. 学生の就職状況、インターンシップ先状況、産学官連携の取組みなどについて、鈴鹿高専の動向把握とホームページや「技術便り」などによる情報交流の機会が得られます。
3. 企業と学生を結ぶ「企業ガイドブック」を発行して、鈴鹿高専学科4年生と専攻科1年生に配布し、就職指導会などでの資料を提供して企業紹介を支援します。
4. 会員企業の経営者や採用担当者と就職活動を控えた学生との直接交流の場となる合同業界説明会を開催し、学生へのブース形式における相談会を実施して企業PRを行って頂けます。
5. 鈴鹿高専事務・教養棟1階に設置されている銘板へ会員企業名を掲示し、学生や来校者に対する企業PRの一貫とします。高専祭では鈴鹿高専テクノプラザのブースにて会員企業のポスターを展示し、学生や多くの来校客に企業紹介を行います。また、鈴鹿市ものづくり企業交流会をはじめ産業展などに参加して会員企業の紹介や研究に関わる共同事業の実施例などを紹介します。

【学生との交流の機会の促進】

創造活動プロジェクト（ロボコン、エコカー、プロコン、小水力発電）や知的財産教育（知的創造サイクルの実践的活動）における交流の場を提供します。連携協力によって、学生の企業認識が深まる、活動支援を通して企業技術者のリフレッシュ教育に寄与する、などの機会が得られます。

鈴鹿高専テクノプラザ 事業内容

1. 研究に関する協働事業

(1) 共同研究・受託研究に関する助成

会員企業と高専教員との共同研究、会員企業の委託による高専教員の受託研究を支援し、会員企業の技術振興を図る。

(下記の5.(1)高専の技術者教育に関する支援として、学生への実践的研究教育の効果も期待出来る。)

(2) 技術相談ならびに学内の研究設備利用に関する会員への便宜

会員企業の技術相談は2回目以降も無料とし、高専内の研究設備利用は使用料に優遇制度(使用料金から30%割引)が適用されます。

2. 会員企業間および高専との人的、情報交流の推進

企業交流会の開催

講師を招聘して話題提供を実施するとともに、会員企業の『わが社の一押し技術』の紹介、高専教員の教育・研究に関する話題提供、鈴鹿高専創造活動プロジェクトの活動紹介、高専の教育研究施設見学、高専祭学科展示の優秀作品紹介などを行い、その後の懇親会にて情報交流を図る。

3. 会員企業の技術向上に関する支援

(1) 企業技術者対象の講習会の実施

会員企業の要望をもとに、実践的な技術講習会や企業人材育成講座、研修会等を企画し実施する。

(2) 企業見学会の実施

会員企業や公的研究機関、教育研究機関等を見学し、新製品・新技術等の研究開発や製作活動の参考にする。

(3) 講演会の開催

鈴鹿高専・SUZUKA産学官交流会等が科学技術に関する研究会や講演会、交流会を開催する。

(4) 高専教員の企業訪問による「出前講座」の開催

普段勉強することが出来ない基礎知識を企業の方に学んで頂くことを目的に、鈴鹿高専教員が学生に教えている講義を企業に出向いて授業を行う。若手社員や技術者の専門基礎教育に、また教養や情報収集に活用して頂くとともに、鈴鹿高専と企業会員との交流を図ることを目的とする。

(5) メール等による企業会員向けの情報提供

行政機関、支援機関等からの会員企業向けイベント情報、セミナーの案内、業界Newsの情報案内の提供を行う。

4. 人材確保の支援、会員企業PR

(1) 「企業ガイドブック」の作成

鈴鹿高専の本科4年生と専攻科1年生に配布するとともに、高専教職員にも配布して、研究・教育に役立たせる。

(2) 「合同業界説明会」での就職希望学生向け会員企業紹介

鈴鹿高専の本科4年生と専攻科1年生を対象に、高専体育館にてブース形式における個別相談会を実施する。

(3) 高専祭での会員企業展示

パネルや製品を展示して、学生および多くの来校客に会員企業を紹介する。

(4) 産業展での活動紹介

鈴鹿市ものづくり企業交流会等の産業展にて、会員企業の紹介、研究に関わる協働事業の実施例などを紹介する。

(5) 銘板への企業会員名の掲載

鈴鹿高専事務・教養棟1階に設置されている銘板へ会員企業名を掲示し、新規会員名を随時掲載する。

5. 高専の教育、国際交流の充実の支援、および学生との交流の促進

(1) 高専の技術者教育に関する支援

① 技術者教育の充実

会員企業等からの講師派遣、技術供与等により、高専教育を支援する。

② 高専祭学科展示作品の審査と優秀作品の表彰

4年生の創造工学の授業で創作した作品の中から、創造工学活動に努力して取り組み、創意工夫して観客を魅了する優れた作品を選び、表彰するとともに副賞を授与する。

(2) 学生海外派遣支援

グローバルエンジニアプログラム「国際インターンシップ（海外就労体験）」の海外関連企業への学生の派遣を支援する。